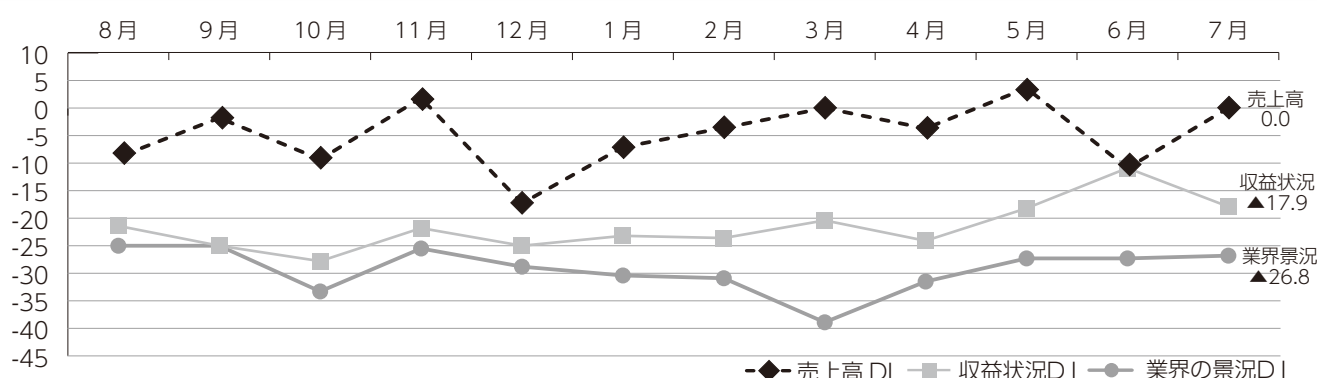


猛暑が経営に様々な影響を与える

概況

多くの業種で物価高騰や人手不足が経営を圧迫し、厳しい状況が続いている。製造業の一部からは、トランプ関税の税率が15%で決定したことを受け、今後の影響に注視している様子が窺えた。猛暑の影響に関して、製麺・家電・運輸業では商品の動きが活発化した一方で、菓子・温泉旅館では来店・宿泊客が減少、建設業では義務化となった熱中症対策の対応に追われるなど様々な影響が聞こえた。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
製造業	全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	食料品	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☁	—	☀	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☀	—	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁

減少悪化 ← ☁ ☁ ☁ ☁ ☁ → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	【パン】 原材料価格の転嫁がうまく進まない企業の倒産が聞こえるようになった。 【菓子】 猛暑の影響から売上が伸びず、昨年より売上高は悪い状況。 【製麺】 猛暑により素麺、冷やしラーメンなどの冷たい麺類が好調だが、昨年並みの動き。
織 維 製 品	【繊維（桐生市）】 広幅（婦人服地）関連は、コロナ禍以降回復基調にあったが、今年は季節的な要因も重なり受注減。特殊織機でしか対応できない製品に注文が集中し、対応に苦慮。 【刺繍】 猛暑・人手不足から生産効率や納期調整に課題。アパレル関連の受注は、夏物のピークを過ぎ、秋冬物への切り替え期となったため減少傾向。 【外衣・シャツ】 物価高騰の中、加工賃などの交渉に苦戦している組合員が多い。
窯業・土石	【コンクリートブロック】 出荷量は減少。増車が叶わず配送力を強化できないため、製造を断念する組合員もいる。売値以上の価値をアピールできる付加価値商品の提供を重要視。 【生コンクリート】 出荷量について、中央・東毛・吾妻・西毛・北部地区で増加したため、全体でも大きく増加となった。 【碎石】 売上高は吾妻地域の増加以外、他の地域はいずれも減少。公共事業の事業量が減少しており、発注も少ないことから厳しい経営状況が続いている。
機械・金属	【めっき】 メーカー・車種により異なるが、スバル・日産の受注は減少傾向。売上高は昨年在著しく悪かったこともあり、改善している組合員が多い。 【自動車関連（トラック）】 トランプ関税について、当初の25%から15%へ下がり少し安堵したが、従来よりは何倍も上がっており、将来への影響を危惧している。 【機械金属（高崎市）】 円安・物価高で原材料・輸入コストが上昇。賃上げ圧力により人件費増加。新卒採用が厳しく、中途採用・有料人材紹介など様々な角度から採用活動を実施。 【自動車関連】 トランプ関税は15%に決定したが、鉄やアルミニウム製品は50%のままであり、引き続き予断を許さない状況に変わりはないとみている。 【機械金属（館林市）】 トランプ関税が15%に落ち着いたことは良かったが、Tier2・3の下請けはギリギリの経営を迫られており、企業存続に影響がでないかを懸念。
そ の 他	【紙製品】 年度当初からの物価上昇に伴い、食料品をはじめ消費の動きが良くない。業界全体としても化粧箱や段ボールケースの消費量に大きく影響を及ぼしている。 【印刷】 資材価格について、トランプ関税の影響を現在は感じていないが、今後多少の影響が出てくるのではないかと懸念している。

《非製造業》

卸 売 業	【食品関連】 後継者不足が深刻な中、M&Aをするよりも廃業を選択するケースが増えている。また、運送費や人件費などのコスト上昇分まで価格転嫁できず、収益を圧迫している。 【再生資源】 鉄屑について、トランプ関税の影響を懸念。古紙については、新聞や書籍の販売量減少に伴い、発生量も年々減少。価格は若干弱含みの状況。
小 売 業	【家電】 エアコンなどの夏物商品につられ、他の小物商品の動きも良かった。 【生花】 物日もなく閑散期に加え、猛暑の影響から来店者の落ち込みが顕著であり、対策を講じる必要を感じている。昨年の後半から客単価の減少が続いている。
商 店 街	【前橋市】 七夕祭りは天候に恵まれ多くの人で賑わったものの、年々七夕飾りが寂しくなっており手立てが必要。新店舗として本屋の出店があり、今後に期待を寄せている。 【沼田市】 ショッピングセンター・ドラッグストアの新規出店や区画整理の影響から、商店街の集客力に一層陰りが見えている。物価高騰も相まって来店客の財布のひもは固い印象。
サービス業	【建築設計】 法改正や建築物の省エネ対応などによって建築士の業務量が増加しており、特に設計事務所では、業務負担増加分も報酬に反映されなければ、経営の継続も厳しい状況。 【温泉旅館】 宿泊客は猛暑や大型施設のリニューアルで前年同月比減少。施設間の格差が顕著で、中小旅館は伸び悩んでいる。原材料高騰で宿泊単価をあげても利益は少ない。
建 設 業	【建設】 気象条件による臨機応変な対応が必要なため、時間外労働の上限規制への対応が困難。また、熱中症対策の義務化により、生産性低下とともに企業負担が増加。 【電気工事】 高齢化・廃業で有資格者が減少し、仕事があっても受注できない状況。熱中症対策に伴い空調服の貸与や休憩時間の増加など経営への影響を懸念している。 【砂利採取】 生コン需要低迷で生産・販売量が前年比10%以上減少。こうした状況でも輸送ダンプカーの不足が続く。価格転嫁の実施は浸透しているが収益状況は改善せず。
運 輸 業	【一般貨物運送】 猛暑で飲料水出荷が増加し、下旬からはお盆休みを見込んで荷物情報が増え始めた印象。トレーラーやキャリアカーといった特殊車両の納車長期化が事業計画や採用計画の妨げとなっている。猛暑からドライバーの体調管理に気をつかうなど各社対応に苦慮。 【貨物軽自動車運送】 スポット配送・引っ越し依頼が前年同月比で大幅減少し、厳しい状況。

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。